

下里 豪志 ピアノコンサート

人権啓発活動地方委託事業は、国民のみなさん一人一人の人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうために、法務局が地方へ委託している事業です。今回は南風原町出身の世界的ピアニスト、下里豪志さんのコンサートを開催しました。

プロフィール

南風原町出身。10歳よりピアノをはじめ。沖縄県立開邦高等学校芸術科音楽コースを経て、特待生として上野学園大学演奏家コースに入学、首席卒業。2017年にイタリアへ渡り、イモラ国際ピアノアカデミーにて、日々努力・精進を重ねている。これまでに、日本人ピアニスト横山幸雄氏など、様々な著名人に師事。現在はレオニード・マルガリウスに師事、異国の地で日々奮闘している。

コンサートを終えて

地元南風原町でのピアノコンサート開催という素敵な機会をありがとうございました。意義ある舞台に立たせていただき、これからも異国の地で頑張る力を、会場のみなさんから沢山いただくことができました。

翔南小学校時代に金賞を受賞し、私がピアノへ進むきっかけになった思い出の曲「ルーマニア民族舞曲」や、想像力をかき立てるシャミナードの曲をみなさんにお届けでき、ピアノを愛する一人の人間として、とても幸せな空間でした。

また、様々な国で修行する私にとって、迷ったときに母のように支えてくれる「ていんさぐめ花」をアンコールでお届けでき、会場のみなさんとの距離が縮まったような気がしました。

今回、LGBTQなどに囚われず、一人のピアニストとしてお招きいただけたこと、とても嬉しかったです。同じような悩みや、違う悩みでも、社会全体が守ってくれる場所を作ること、悩む人が救われると思います。今回のイベントが、その場所になったのなら私も幸せです。



会場の黄金ホールにちなんで黄色のドレスで登場



トーク中の司会 新垣さんと下里さん



演奏の様子



はえるんからの花束贈呈



司会 新垣さんとはえるんと下里さん

町長メッセージ



カンパネラはイタリア語で「鐘」という意味があります。繊細かつ素早い指さばき、そして彼女の情熱を感じるような力強い音色が、鐘のように会場全体に響き渡っていたような気がします。

今回、人権啓発活動、そして町の催しに賛同してくれて本当にありがとうございました。本日、お越しいただいた皆さんも、下里さんが奏でる、多彩な音色から、様々な気持ちを感じ取られたと思います。この経験が、皆さんの生活をより豊かなものにしてけると期待しております。

来場者メッセージ

- ◎初めてピアノコンサートを体験した9歳の息子が「生で聴くピアノってこんなに迫力があるんだね」と感動していました
- ◎私は小学校一年生で、今年からピアノを習い始めました。初めてピアノコンサートを聴いて、楽しかったし、指の動きが速くてビックリしました
- ◎ピアノの音色でこの一年への感謝が溢れました。そして、新しい年への希望を受け取ることができました
- ◎下里さんに対して抱いていた私の偏見は、音楽が吹き飛ばしてくれました

コンサートセットリスト

- ①ショパン 子犬のワルツ
 - ②ベートーヴェン エリーゼのために
 - ③バルトーク ルーマニア民族舞曲
 - ④シャミナード 森の精
 - ⑤リスト ラ・カンパネラ
- アンコール ていんさぐめ花

Amore アモーレ

私(下里)が大好きな作曲家は「ラフマニノフ」です。彼の作品はピアノの音が人の声のように聴こえてくる感じがとても好きです。みなさんも一度聴いてみてください。